日野車用ソフト
取扱説明書

株式会社デンソー

重要

Product Name: DST-i software for HINO Vehicles
Number of License: One

お客様へ：

以下のソフトウェア使用許諾契約（以下「本契約」）を注意してお読み下さい。ソフトウェア使用許諾契約は契約書です。製品のソフトウェア「DST-i 日野車用ソフト」及びその関連資料は、著作権法及び国際条約の条項によって保護されています。お客様は、製品またはその一部をインストールまたは使用する前に本契約に同意する必要があります。もし、お客様が本契約の条項を承諾されない場合、お客様は本製品を使用することができません。
なお、以下の契約内容は参考とし、内容については英語の原文に従うものとします。

ソフトウェア使用許諾契約

製品のソフトウェア「DST-i 日野車用ソフト」及びその関連資料（以下「本ソフトウェア」）は、株式会社デンソー（以下「弊社」）またはそのライセンサーの著作物です。本ソフトウェアは、以下の条項への同意により弊社からお客様に使用許諾されるものであり、販売または譲渡されるものではありません。
お客様が個人で本ソフトウェアを使用される場合、「お客様」は個人を意味します。お客様が職員、従業員、代理人またはその他社員（関連会社の社員）として本ソフトウェアを使用される場合、「お客様」は法人を意味します。本契約は、お客様が本契約に同意した日をもって発効するものとします。

１．許諾権利

弊社は、お客様に対して、お客様が車載電子制御システムの故障診断を行う目的（以下「本目的」）の為に、本ソフトウェアを１台のDST-iハードウェア（以下「本ハードウェア」）にインストールし、使用する権利を許諾します。

２．制限

(1)お客様は、本目的以外の目的の為に、本ソフトウェアをインストールまたは使用することはできません。
(2)お客様は、本ソフトウェアを、複数のハードウェアにより使用することはできません。
(3)お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸与、レンタル、リース、販売、再実施許諾またはその他の方法で第三者（お客様が本契約と全てのソフトウェアを譲渡し、譲受人は永久に本契約の全ての条項に同意するとしても）に移転することはできません。
(4)お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、複製、併合、改変または変換することはできません。
(5)お客様は、本ソフトウェアの構成要素からデンソーの著作権や登録商標、その他の所有者の情報を取り除いて不明瞭にすることはできません。
(6)お客様は、(i)核兵器、化学兵器、生物兵器、ミサイル兵器等の大量破壊兵器の設計、開発、製造、蓄積及び使用(ii)その他、軍事活動への使用(iii)これらの活動を援助するいかなる使用、を含む国際的な平和と安全を脅かす目的での使用に関して、デンソーから提供されたソフトウェアおよび技術、その他の製品の製造または開発に関わるソフトウェアおよび技術を使用する事はできません。
(7)お客様は、上記の活動に関する知識や推察力のある第三者や上記の活動に関与するいかなる者に、直接的にも間接的にも本ソフトウェアを販売や輸出、使用許諾、貸与、譲渡、開示またはその他の手段で提供する事はできません。
(8)お客様は、輸出管理に関する法令及び規則に定められた必要な手続きなしでは、直接的にも間接的にも本ソフトウェアを輸出、再輸出、積換えできません。
(9)お客様は、弊社の公式ウェブページから本ソフトウェアを違法にダウンロードしてはいけません。もし違法にダウンロードした場合は、アクセスキーが無効になります。

３．契約違反

本ソフトウェアを権限なくインストール、複製または使用することは厳正な民事裁判の結果、刑罰を生じる可能性があり、最大限可能な範囲で告訴します。
お客様が、本契約の条項に違反した場合、お客様の所持する全ての媒体から本ソフトウェアを消去または破棄するものとし、本契約で許諾されるお客様の全ての権利は、自動的に解除されるものとします。この場合、当該解除は弊社のお客様に対する損害賠償請求を妨げるものではありません。

４．免責

本ソフトウェアは、いかなる保証も付されず「現状のまま」で提供されるものです。弊社による本ソフトウェアの提供または本契約下の権利許諾は、第三者の知的財産権を侵害しないことを保証するものではありません。弊社は、本ソフトウェアの特定用途への適合性及び商品性を保証しません。弊社は、本ソフトウェアの瑕疵に関していかなる責任も負いません。弊社は、本ソフトウェアまたはその一部に起因して発生する、或いは本ソフトウェアをインストール、使用するまたは使用できないことに起因して発生する直接的、間接的、特別、付随的、派生的またはその他一切の損害について賠償責任を負いません。

５．準拠法

本契約は、その有効性、解釈及び履行を含め、全ての事項に関して、法律上の紛争に関わらず日本国法に準拠するものとします。

６．仲裁

本契約に起因するいかなる紛争でも、国際商業会議所の調停と仲裁のルールに従った仲裁により最終的に解決するものとします。仲裁裁判の裁定は最終的かつ当事者を拘束するものとします。仲裁裁判は、日本の東京で執り行います。

T02525Z

IMPORTANT

Product Name: DST-i software for HINO Vehicles
Number of License: One

NOTICE TO USER:

Please read the following License Agreement carefully. The License Agreement is a contract. This software product of "DST-i software for HINO Vehicles", including any document related thereto, is protected by copyright laws and international treaties. You must agree to all of the terms and conditions of the License Agreement before installing or using wholly or partially the product.
If you do not agree to any of the terms and conditions of the License Agreement, do not use this product.

License Agreement

This software product of " DST-i software for HINO Vehicles", including any document related thereto (the "Software") is the copyrighted work of DENSO CORPORATION ("DENSO") and its licensor. Under this Agreement, the Software is licensed to you by DENSO subject to the terms and conditions below, not sold nor assigned to you by DENSO.
If you use the Software as a natural person, "you" herein means such natural person, and if you use the Software as an officer, employee, agent or other member (including a partner of a partnership) of any legal entity, "you" herein means such legal entity.
This Agreement shall take effect as from the day you agree to all of the terms and conditions of the License Agreement.

1. Limited License
DENSO grants you a non-exclusive license to install the Software into one certain DST-i hardware in your possession or under your control ("Hardware"), and to use the Software for the sole purpose of diagnosing the trouble of vehicle electronic control systems ("Purpose").

2. Restrictions
(i) You shall not install the Software for any purpose other than Purpose, and shall not use the Software for any purpose other than Purpose.
(ii) You shall not use the Software with any hardware other than Hardware.
(iii) You shall not rent, lease, sell, sublicense, assign, or otherwise transfer the Software or this Agreement to any third party; provided, however, that you may assign all of the Software and this Agreement, not part thereof, to your assignee perpetually subject to agreement of such assignee to all of the terms and conditions of this Agreement.
(iv) You shall not copy, reverse engineering, decompile, disassemble, merge, modify or translate the Software. However, you may make one copy of the Software for the sole purpose to make a backup of the Software.
(v) You shall not remove nor obscure DENSO's copyrights, trademarks or other proprietary notices or legends from any of the materials of the Software.
(vi) You shall not use the Software and/or technology provided by DENSO, or any other products, software and/or technology manufactured or developed by using them for the purposes of disturbing international peace and security, including (1) the design, development, production, stockpiling or use of weapons of mass destruction such as nuclear, chemical or biological weapons or missiles, (2) the other military activities, or (3) any use supporting these activities.
(vii) You shall not sell, export, dispose of, license, rent, transfer, disclose or otherwise provide the Software to any third party, whether directly or indirectly, with knowledge or reason to know that the third party or any other party will engage in the activities described above.
(viii) You shall not directly or indirectly, export, re-export, transship or otherwise transfer the Software in violation of any applicable export control laws or regulations promulgated and administered by the governments of the countries asserting jurisdiction over the parties or their transactions.
(ix) You shall not illegally download the Software from official Webpage of DENSO. If you illegally download the same, your access key becomes invalidated.

3. Violation of this Agreement
Unauthorized install, copy or use of the Software may result in severe civil and criminal penalties, and will be prosecuted to the maximum extent possible.
All your rights granted hereunder shall automatically terminate if you fail to comply with any terms and conditions of this Agreement. You shall destroy or erase all of the Software from all media in your possession or under your control if you fail to comply with any terms and conditions of this Agreement. The termination of this Agreement shall not prejudice any rights and remedies that DENSO may have against you.

4. Disclaimer of Warranty; Limitation of Liability
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" WITHOUT ANY KIND OF WARRANTY OF ANY PURPOSE. THE SUPPLY OF THE SOFTWARE OR THE GRANT OF RIGHTS HEREUNDER BY DENSO SHALL NOT IMPLY ANY WARRANTY AGAINST INFRINGEMENT OF INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS HELD BY A THIRD PARTY. DENSO MAKES NO REPRESENTATIONS NOR WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
DENSO ASSUMES NO RESPONSIBILITY FOR THE APPLICATION OF, ERRORS NOR OMISSION IN THE SOFTWARE. IN NO EVENT SHALL DENSO BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE OR OTHER DAMAGES ARISING OUT OF OR RESULTING FROM ANY PART OF THE SOFTWARE, THE INSTALLATION OR COPY OF THE SOFTWARE, THE USE OF THE SOFTWARE, OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE. FURTHERMORE, DENSO SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY LOSS, DAMAGES OR COSTS ARISING OUT OF LOST PROFITS OR REVENUE, LOSS OF USE OF THE SOFTWARE, LOSS OF DATA OR EQUIPMENT, COST OF RECOVERING THE SOFTWARE, DATA OR EQUIPMENT, THE COSTS OF SUBSTITUTE THE SOFTWARE, MEDIA, DATA OR EQUIPMENT OR OTHER SIMILAR COSTS, AND SHALL BE FULLY INDEMNIFIED FROM ANY CLAIM ASSERTED BY YOU OR ANY THIRD PARTY.

5. Governing Law
This Agreement shall be governed as to all matters including validity, construction and performance, by and under the laws of Japan, without reference to its conflicts of law principles.

6. Arbitration
Any disputes arising out of this Agreement shall be finally settled by arbitration in accordance with the Rules of Conciliation and Arbitration of the International Chamber of Commerce. The award of arbitration shall be final and binding upon the parties. Arbitration shall be held in Tokyo, Japan.

T02526Z

はじめに

このたびは、DST-i 日野車用ソフト（以下、「DST-i 日野車用ソフト」）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

DST-i 日野車用ソフトは、DST-i（以下、「DST-i」）用の Hino Diagnostic eXplorer（以下、「HinoDX」）のインターフェース、および日野自動車株式会社製車両診断（LCD 付きモデルのみ）ソフトウェアです。
DST-i 以外のハードウェアでの使用および日野車以外の車両の診断には使用できません。

初めて DST-i に DST-i 日野車用ソフトをインストールしたときには、「仕向地」が「グローバル」に設定されており、英語で表示されます。
日本語表示に切り替えるには、仕向地設定で「仕向地」を「日本」に変更してください。

参照：P.30 仕向地「グローバル」（英語表示）から仕向地「日本」（日本語表示）に切り替えるには（2 章 DST-i 日野車用ソフトの操作／本体設定／仕向地設定）

安全にお使いいただくために

- 本製品は、適切な訓練を受け、技能を身につけた自動車専門技術者により使用されるものです。以下、取扱説明書を通じて示されている安全メッセージは、本製品を使用する際に十分注意すべきことを使用者に促すものです。
- 車両の診断・整備には、作業を行う個人の技能とともに、多種多様な作業手順、技術、工具、部品などを使用し様々な結果が考えられるため、それらすべての状況を網羅するアドバイスや安全メッセージを提示することはできません。従って、診断システムについて十分な知識を持つことは自動車専門技術者の責任です。適切な診断・整備の方法や処置のために活用し、あなたの安全、作業場にいる他の人の安全、加えて、診断する車両や装置の安全を損なわないよう、適切な方法で作業を行うことが重要です。
- 本製品を使用する前提として、使用者は車両システムを十分理解しているものと想定しています。本製品を、適切、安全、正確に使用するためには、本製品の操作方法だけでなく、車両システムの原理も十分理解することが必要です。

本書では、警告・注意を促す内容や禁止の行為に記号を用いています。その表示と意味は次のとおりです。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

記号	意味
⚠ 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な事故に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的傷害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
🛇 禁止	取扱いにおいて、禁止となる行為。
❗ 強制	取扱いにおいて、遵守しなければならない行為。

製品取り扱い上の警告・注意

⚠警告

- 「安全な診断を行うためには」に記載されている注意事項に従い、診断・修理作業を実施してください。

  参照：P.v 安全な診断を行うためには（安全にお使いいただくために）
- 本製品を使用する前には、診断する車両または装置のメーカーにより提供されている安全メッセージや適用診断手順も参照し、それに従ってください。

  注意事項に従わない場合、事故を引き起こす恐れがあります。
- 走行中に作業をしないでください。

  事故になる危険があります。
- ケーブルは、作業者または運転制御装置に絡まるような取り回し方をしないでください。

  事故を引き起こす恐れがあります。
- 発熱、発火、破裂または感電の原因となりますので、以下のことを必ず守ってください。
  –本製品を分解、改造しないでください。

  –本製品の定格電圧を超える電源に接続しないでください。

  –プローブなどを、定格を超える電圧部分に接続しないでください。

⚠注意

- 作業を実施する前に、車輪に輪止めをして動かないようにしてください。
  事故を引き起こす恐れがあります。
- 車両の下などの目に見えにくい場所で作業する場合、必ずキースイッチを OFF にし、車両が絶対に動かないようにしてください。
  事故を引き起こす恐れがあります。
- エンジン始動や車両を移動する際は、周りに他の作業者がいないことを確認してから行ってください。
- ECU やインジェクタには 100V を超える高電圧が発生しています。作業を行う際は、感電に十分注意してください。
- 部品を取り外す際は、バッテリーのアース線を取り外してから作業してください。
- コネクタまたは車両の電気端子を接続したり取り外す際は、特別な指示がない限り、必ずキースイッチを OFF にしてください。
  車両側電気回路の損傷を引き起こす恐れがあります。
- 回転物の近くで作業を行う際は、安全メガネや保護衣服を着用してください。
  回転するエンジンにより、部品等が飛散し、事故を引き起こす恐れがあります。
- エンジンが冷えているとき以外は、ラジエータキャップを取り外さないでください。
  高温で加圧されたエンジン冷却水を浴びる恐れがあります。
- 排気装置、マニホールド、エンジン、ラジエータなどの高温になる部分に素手で触れないでください。
  やけどの原因となります。
- 高温のエンジン・部品を触れたり、扱う際は、手袋を使用してください。
- エンジンの回転中は、本製品のケーブルなどをエンジンルームの上を通して作業しないでください。
  ベルトやプーリーにより、ケーブル・衣類などが巻き込まれ、事故を引き起こす恐れがあります。
- 水がかかるような場所で作業しないでください。
- 本製品を落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品に接続したケーブルで本製品を持ち上げたり、引っ張ったりしないでください。移動や設置の際は本製品を持って移動してください。
- 本製品に接続しているコネクタに荷重をかけないでください。
  故障の原因となります。
- 使用する前に、本製品に異物の付着やコネクタピンの破損がないか点検してください。

安全な診断を行うためには

- バッテリーの上に金属工具を置かないでください。

- バッテリーの近くでは火花を起こさないでください。
  バッテリーガスが発火する恐れがあります。
- 火のついたタバコ、スパーク、裸火、その他の発火源は、車両およびバッテリーから遠ざけてください。

- バッテリー・ケーブルを取り外す前には、必ずキースイッチを OFF にし、ヘッドライトやその他のアクセサリーを OFF にしてください。

- 電気システム・コンポーネントを整備点検する前には、必ずバッテリーのアース線を取り外してください。

- バッテリーは、金属製の装飾品を溶損する程の高い短絡電流を流すことができます。バッテリーの近くで作業する前に、指輪、腕輪、時計などの装飾品を取り外してください。
  事故を引き起こす恐れがあります。

- バッテリーを取り扱う作業者や近くで作業している人は、安全メガネや保護手袋を使用してください。

- バッテリーを取り扱う場合は、近くにたくさんの新鮮な水と石鹸を用意してください。万が一バッテリー液が皮膚、衣類、または目に入った場合は、該当部分を石鹸水で 10 分間洗ってください。そして、直ちに医療機関で診察、治療を受けてください。

- バッテリーの近くで作業している間は、目を直接こすったり、触れたりしないでください。
  バッテリー液により、目や皮膚にやけどをする恐れがあります。

- ジャンパ・ワイヤまたは工具で、バッテリー端子間の電気接続を行わないでください。

- 電力を有しているか、有しているかもしれない電気端子を接地しないでください。
  車両側電気回路の損傷を引き起こす恐れがあります。

- エンジンを始動して作業する際は、排気ガスを強制的に屋外へ排気する設備がある場所で使用してください。
  エンジン排気ガスには、無臭の致死的ガスが含まれており、中毒により、死亡または重傷にいたる可能性があります。

- 地下ピットや密閉された屋内のように、爆発性蒸気が集まる環境で、本製品を使用しないでください。

- 作業中は、喫煙したり、マッチをすらないでください。
  バッテリーガスや爆発性のガスが発火する恐れがあります。
- 診断を行っているときには、引火性のあるスプレーや洗浄用スプレーなどを使用しないでください。

- 万が一の爆発、爆発に伴う火災に備え、ガソリン、化学薬品および電気火災用の乾燥化学消化器を作業場に備えてください。

- 作業者や近くで作業している人は、安全メガネと保護衣服を使用してください。
  車両システムの故障や誤動作により、燃料、油蒸気、高温蒸気、有毒排気ガス、酸、冷媒、その他の異物を排出する恐れがあります。

目次

1 起動と終了

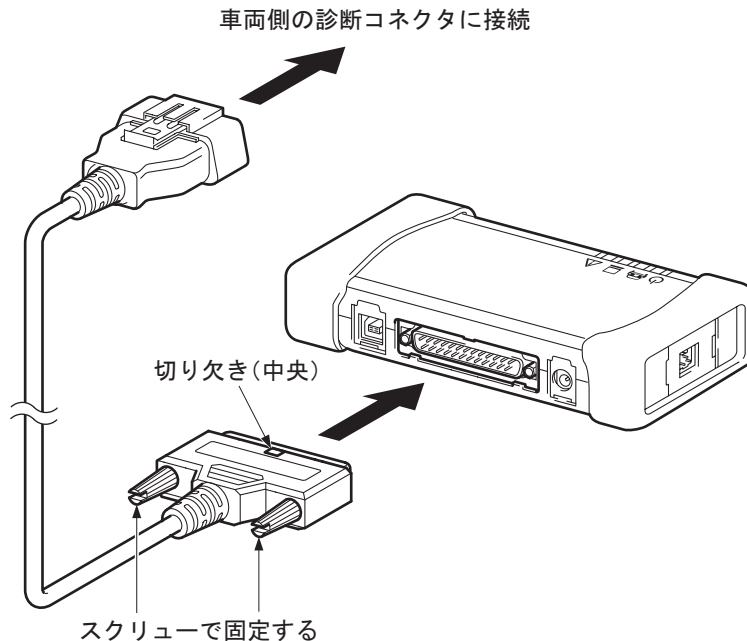
2 DST-i 日野車用ソフトの操作

3 エラーが発生したら

1 起動と終了

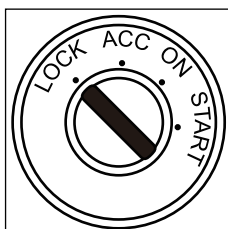
1-1 LCD なしモデル

＜起動＞

1. DST-i と車両側の診断コネクタをデータリンクケーブルで接続します。

⚠注意

- DST-i 専用のデータリンクケーブル以外は使用しないでください。
- 接続する前に、各コネクタに異物の付着やコネクタピンの破損がないか確認してください。
- データリンクケーブルを DST-i および車両側の診断コネクタへ接続する場合は、コネクタの向きに注意し、まっすぐ静かに接続してください。
  誤った向きで接続しようとしたり、傾いた状態で差し込んだ場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
- DST-i に接続しているコネクタに荷重をかけないでください。
  荷重をかけた場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車両のキースイッチが LOCK になっていることを確認してください。

T02762Z

2. DST-i とパソコンを USB ケーブルで接続します。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- パソコンと USB 通信が確立すると、DST-i のパソコン通信（USB）インジケータが緑に点灯もしくは点滅します。
- Bluetooth 付きモデルで Bluetooth 通信によってパソコンと接続する場合は、USB ケーブルでの接続は必要ありません。
- Bluetooth 通信によってパソコンと接続する場合は、DST-i コンフィグレーションツールによって通信設定する必要があります。
- パソコンと Bluetooth 通信が確立すると、DST-i のパソコン通信（Bluetooth）インジケータが青に点灯もしくは点滅します。
- Bluetooth 付きモデルをパソコンと USB ケーブルで接続すると、パソコンとの通信は USB 通信が優先されます。
- USB 通信を行っている状態から Bluetooth 通信へ変更する場合は、HinoDX を終了させた状態で USB ケーブルを取り外してください。

⚠注意

- ご使用のパソコンへ USB ケーブルを接続する前に、パソコンへ USB ドライバをインストールする必要があります。
- 接続する前に、各コネクタに異物の付着やコネクタピンの破損がないか確認してください。
- USB ケーブルを DST-i およびパソコンへ接続する場合は、コネクタの向きに注意し、まっすぐ静かに接続してください。

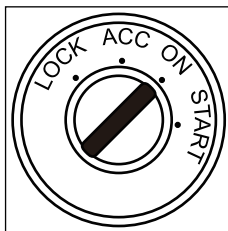
  誤った向きで接続しようとしたり、傾いた状態で差し込んだ場合、コネクタの端子が破損し、パソコンや DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
- DST-i に接続しているコネクタに荷重をかけないでください。

  荷重をかけた場合、コネクタの端子が破損し、パソコンや DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。

3. DST-i のモードスイッチを ON にします。

T01864J

アドバイス
- モードスイッチを ON にすると、DST-i の電源インジケータが緑に点灯します。

4. 車両のキースイッチを ON にします。

T02763Z

アドバイス
- 車両のキースイッチが OFF または ACC の状態では、車両と通信することができません。
DST-i を使用する際は、キースイッチを ON またはエンジンを始動させてください。

5. パソコンで HinoDX を起動します。

6. HinoDX の画面で、インターフェースが "DST-i" になっていることを確認します。
インターフェースが "DST-i" になっていない場合、「HinoDX で DST-i をインターフェースとして設定するには」に記載されている手順に従い、HinoDX の設定を行います。
参照：P.13 HinoDX で DST-i をインターフェースとして設定するには（1 章 起動と終了）

＜終了＞

1. HinoDX で車両との通信を終了させます。

> ⚠注意
> - アクティブテスト中に DST-i のモードスイッチを OFF にしたり、データリンクケーブルを取り外したりすると、アクチュエータが駆動状態のままになる場合があります。必ずアクティブテストを終了させてから、終了処理してください。

2. DST-i のモードスイッチを OFF にします。

3. 車両のキースイッチを OFF にします。

4. USB ケーブルを DST-i とパソコンから取り外します。

> ⚠注意
> - USB ケーブルを DST-i およびパソコンから取り外す場合は、コネクタに対してまっすぐ静かに引き抜いてください。
>   傾いた状態で引き抜いた場合、コネクタの端子が破損し、パソコンや DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
> - 引き抜く際は、コードの部分ではなく、必ずコネクタの部分を持って引き抜いてください。
>   コードの部分を持って引き抜いた場合、ケーブルが断線する恐れがあります。

5. データリンクケーブルを DST-i と車両側の診断コネクタから取り外します。

> ⚠注意
> - データリンクケーブルを DST-i および車両側の診断コネクタから取り外す場合は、コネクタに対してまっすぐ静かに引き抜いてください。
>   傾いた状態で引き抜いた場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
> - 引き抜く際は、コードの部分ではなく、必ずコネクタの部分を持って引き抜いてください。
>   コードの部分を持って引き抜いた場合、ケーブルが断線する恐れがあります。

1-2 LCD 付きモデル

LCD 付きモデルの場合、「HinoDX のインターフェースとして使用する」方法と、パソコンと接続せずに「DST-i 単体で診断に使用する」方法の 2 種類の使用方法があります。

HinoDX のインターフェースとして使用する場合

＜起動＞

1. DST-i と車両側の診断コネクタをデータリンクケーブルで接続します。

⚠注意

- DST-i 専用のデータリンクケーブル以外は使用しないでください。
- 接続する前に、各コネクタに異物の付着やコネクタピンの破損がないか確認してください。
- データリンクケーブルを DST-i および車両側の診断コネクタへ接続する場合は、コネクタの向きに注意し、まっすぐ静かに接続してください。
  誤った向きで接続しようとしたり、傾いた状態で差し込んだ場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
- DST-i に接続しているコネクタに荷重をかけないでください。
  荷重をかけた場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車両のキースイッチが LOCK になっていることを確認してください。

2. DST-i とパソコンを USB ケーブルで接続します。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- パソコンと USB 通信が確立すると、DST-i のパソコン通信（USB）インジケータが緑に点灯もしくは点滅します。
- Bluetooth 付きモデルで Bluetooth 通信によってパソコンと接続する場合は、USB ケーブルでの接続は必要ありません。
- Bluetooth 通信によってパソコンと接続する場合は、DST-i コンフィグレーションツールによって通信設定する必要があります。
- パソコンと Bluetooth 通信が確立すると、DST-i のパソコン通信（Bluetooth）インジケータが青に点灯もしくは点滅します。
- Bluetooth 付きモデルをパソコンと USB ケーブルで接続すると、パソコンとの通信は USB 通信が優先されます。
- USB 通信を行っている状態から Bluetooth 通信へ変更する場合は、HinoDX を終了させた状態で USB ケーブルを取り外してください。

⚠注意

- ご使用のパソコンへ USB ケーブルを接続する前に、パソコンへ USB ドライバをインストールする必要があります。
- 接続する前に、各コネクタに異物の付着やコネクタピンの破損がないか確認してください。
- USB ケーブルを DST-i およびパソコンへ接続する場合は、コネクタの向きに注意し、まっすぐ静かに接続してください。

  誤った向きで接続しようとしたり、傾いた状態で差し込んだ場合、コネクタの端子が破損し、パソコンや DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
- DST-i に接続しているコネクタに荷重をかけないでください。

  荷重をかけた場合、コネクタの端子が破損し、パソコンや DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。

3. DST-i のモードスイッチを ON にします。
オープニング画面が表示されます。

オープニング画面

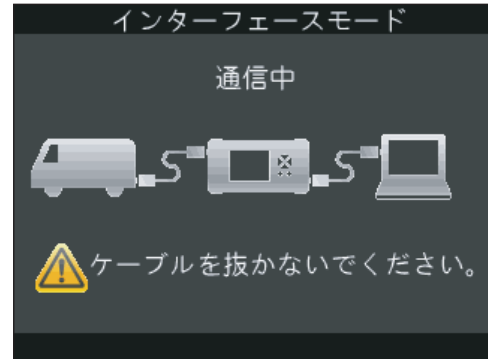
アドバイス
- モードスイッチを ON にすると、DST-i の電源インジケータが緑に点灯します。

4. 車両のキースイッチを ON にします。

アドバイス
- 車両のキースイッチが OFF または ACC の状態では、車両と通信することができません。
DST-i を使用する際は、キースイッチを ON またはエンジンを始動させてください。

5. パソコンで HinoDX を起動します。

6. HinoDX の画面で、インターフェースが "DST-i" になっていることを確認します。
インターフェースが "DST-i" になっていない場合、「HinoDX で DST-i をインターフェースとして設定するには」に記載されている手順に従い、HinoDX の設定を行います。
参照 : P.13 HinoDX で DST-i をインターフェースとして設定するには（1 章 起動と終了）
DST-i がパソコンと通信を開始すると、自動的にオープニング画面からインターフェースモード画面に切り替わります。

T01924J
オープニング画面

T01925J
インターフェースモード画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ
- オープニング画面以外では、インターフェースとして使用できません。
  DST-i を再起動して、オープニング画面を表示してからインターフェースとして使用してください。
- インターフェースモード画面に切り替わると、DST-i のキー操作は無効となります。
- インターフェースモードの状態から、DST-i 日野車用ソフトとして使用する場合は、DST-i を再起動してください。

＜終了＞

1. HinoDX で車両との通信を終了させます。

> **⚠注意**
> - アクティブテスト中に DST-i のモードスイッチを OFF にしたり、データリンクケーブルを取り外したりすると、アクチュエータが駆動状態のままになる場合があります。必ずアクティブテストを終了させてから、終了処理してください。

2. DST-i のモードスイッチを OFF にします。

3. 車両のキースイッチを OFF にします。

4. USB ケーブルを DST-i とパソコンから取り外します。

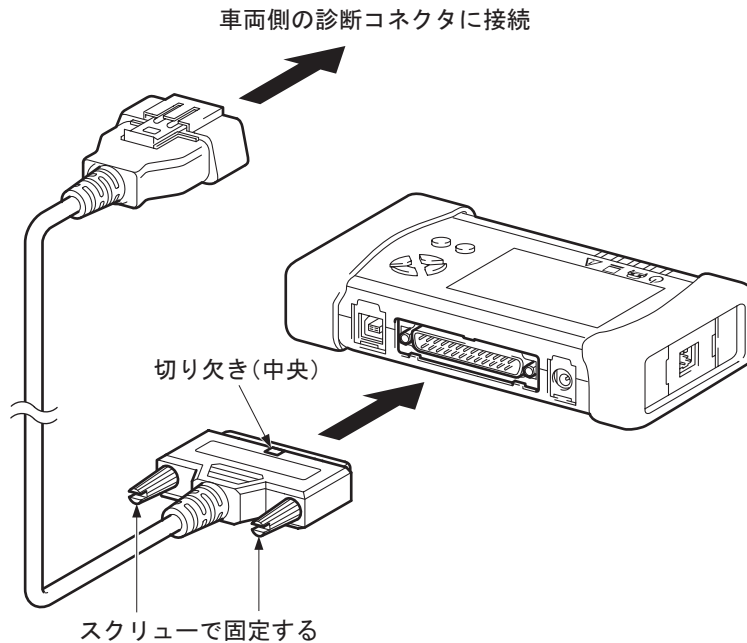
> **⚠注意**
> - USB ケーブルを DST-i およびパソコンから取り外す場合は、コネクタに対してまっすぐ静かに引き抜いてください。
>   傾いた状態で引き抜いた場合、コネクタの端子が破損し、パソコンや DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
> - 引き抜く際は、コードの部分ではなく、必ずコネクタの部分を持って引き抜いてください。
>   コードの部分を持って引き抜いた場合、ケーブルが断線する恐れがあります。

5. データリンクケーブルを DST-i と車両側の診断コネクタから取り外します。

> **⚠注意**
> - データリンクケーブルを DST-i および車両側の診断コネクタから取り外す場合は、コネクタに対してまっすぐ静かに引き抜いてください。
>   傾いた状態で引き抜いた場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
> - 引き抜く際は、コードの部分ではなく、必ずコネクタの部分を持って引き抜いてください。
>   コードの部分を持って引き抜いた場合、ケーブルが断線する恐れがあります。

DST–i 日野車用ソフトを使用する場合

＜起動＞

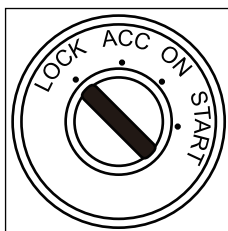
1. DST–i と車両側の診断コネクタをデータリンクケーブルで接続します。

⚠注意

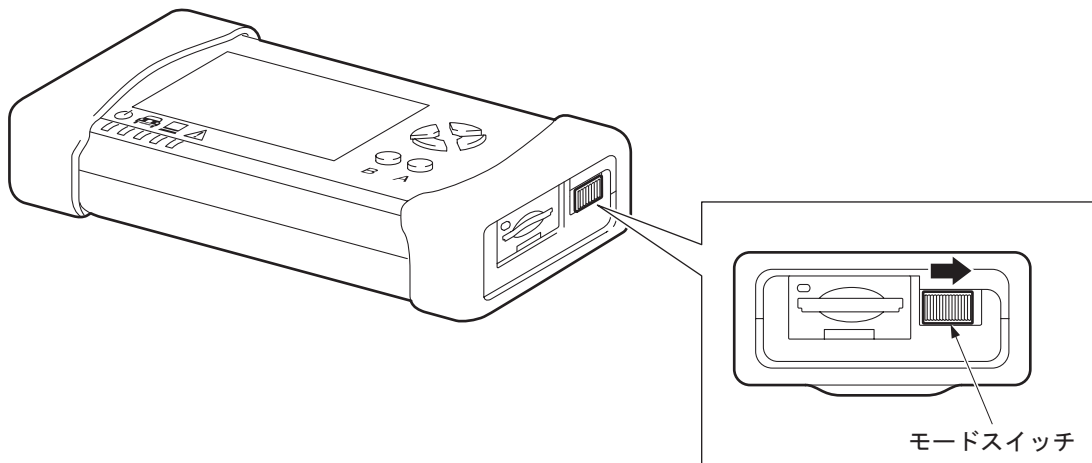
- DST–i 専用のデータリンクケーブル以外は使用しないでください。
- 接続する前に、各コネクタに異物の付着やコネクタピンの破損がないか確認してください。
- データリンクケーブルを DST–i および車両側の診断コネクタへ接続する場合は、コネクタの向きに注意し、まっすぐ静かに接続してください。

  誤った向きで接続しようとしたり、傾いた状態で差し込んだ場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST–i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
- DST–i に接続しているコネクタに荷重をかけないでください。

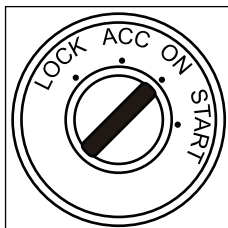
  荷重をかけた場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST–i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車両のキースイッチが LOCK になっていることを確認してください。

T02762Z

2. DST-i のモードスイッチを ON にします。
オープニング画面が表示されます。

オープニング画面

アドバイス
- モードスイッチを ON にすると、DST-i の電源インジケータが緑に点灯します。

3. 車両のキースイッチを ON にします。

アドバイス
- 車両のキースイッチが OFF または ACC の状態では、車両と通信することができません。
  DST-i を使用する際は、キースイッチを ON またはエンジンを始動させてください。

＜終了＞

1. DST-i 日野車用ソフトで車両との通信を終了させます。

> ⚠**注意**
> - アクティブテスト中に DST-i のモードスイッチを OFF にしたり、データリンクケーブルを取り外したりすると、アクチュエータが駆動状態のままになる場合があります。必ずアクティブテストを終了させてから、終了処理してください。

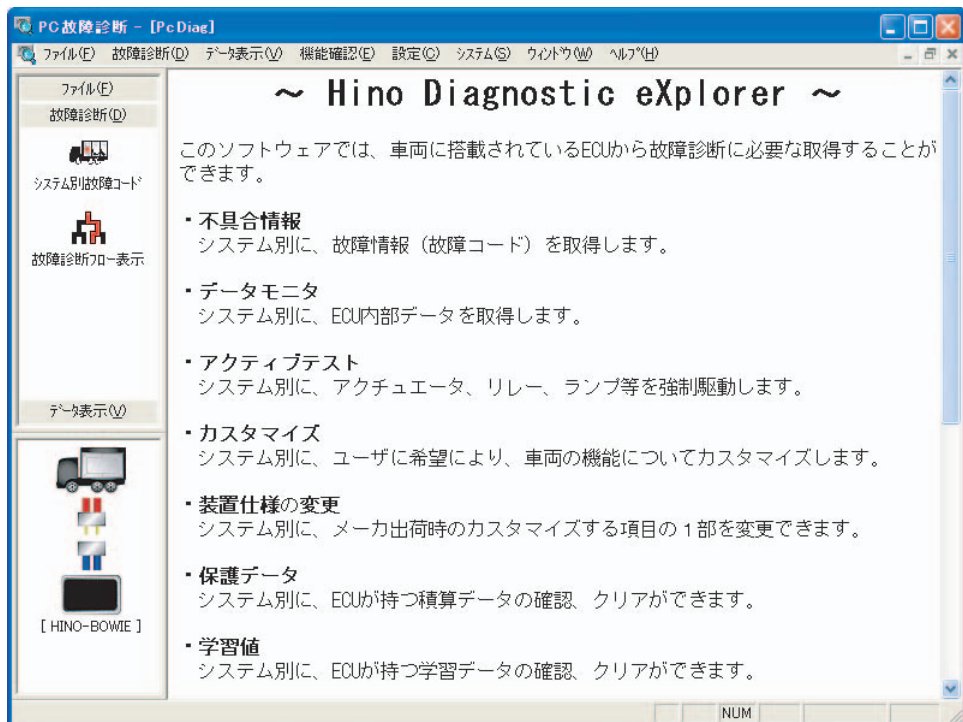
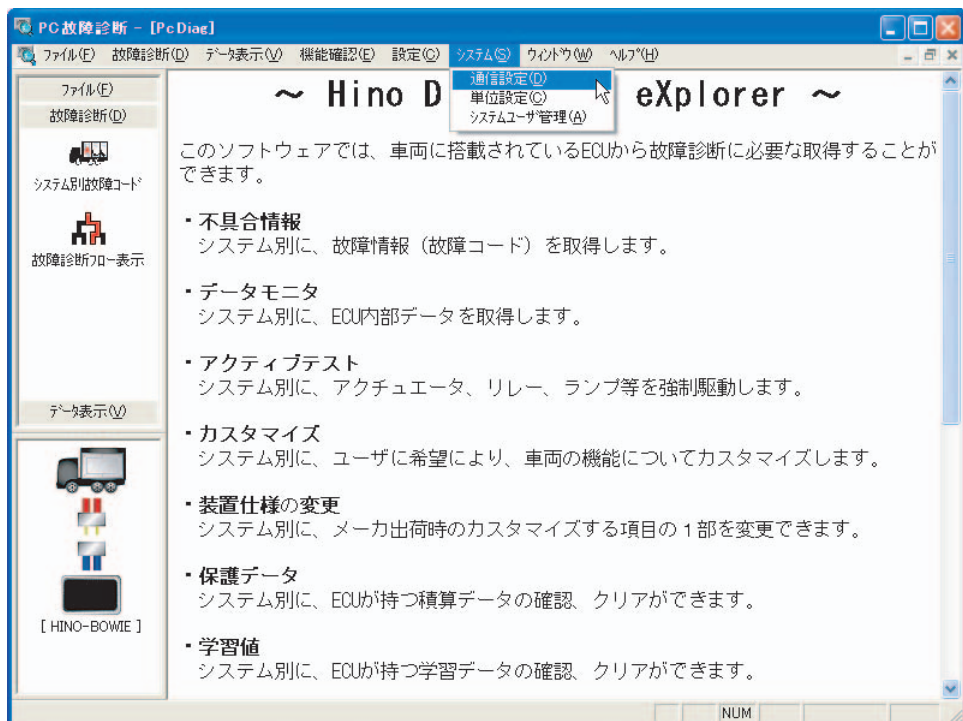
2. DST-i のモードスイッチを OFF にします。

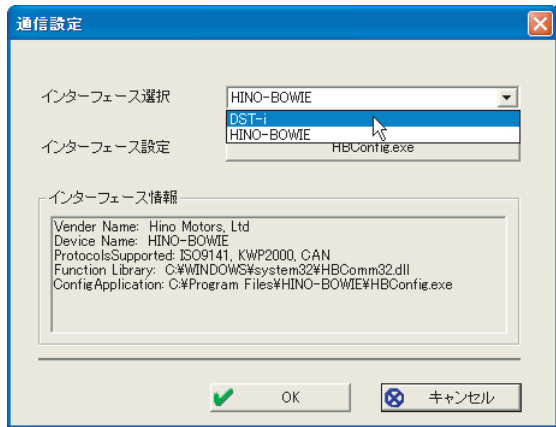
3. 車両のキースイッチを OFF にします。

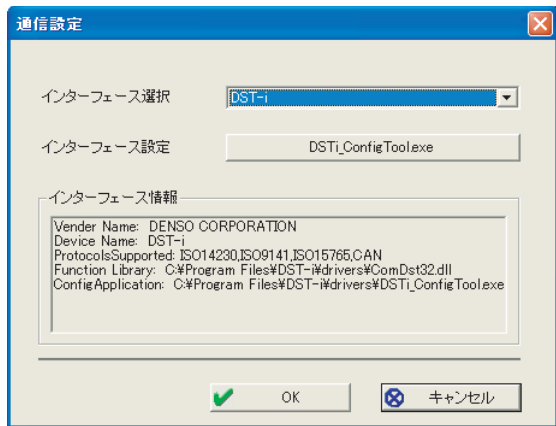
4. データリンクケーブルを DST-i と車両側の診断コネクタから取り外します。

> ⚠**注意**
> - **データリンクケーブルを DST-i および車両側の診断コネクタから取り外す場合は、コネクタに対してまっすぐ静かに引き抜いてください。**
>
>   傾いた状態で引き抜いた場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
> - **引き抜く際は、コードの部分ではなく、必ずコネクタの部分を持って引き抜いてください。**
>
>   コードの部分を持って引き抜いた場合、ケーブルが断線する恐れがあります。

1-3 HinoDX で DST-i をインターフェースとして設定するには

1. HinoDX の PC 故障診断画面でメニューバーの「システム」から「通信設定」を選択します。
通信設定画面が表示されます。

PC故障診断画面

「通信設定」を選択している画面

2. 通信設定画面の「インターフェース選択」でプルダウンより「DST−i」を選択します。

通信設定画面
（プルダウンより選択）

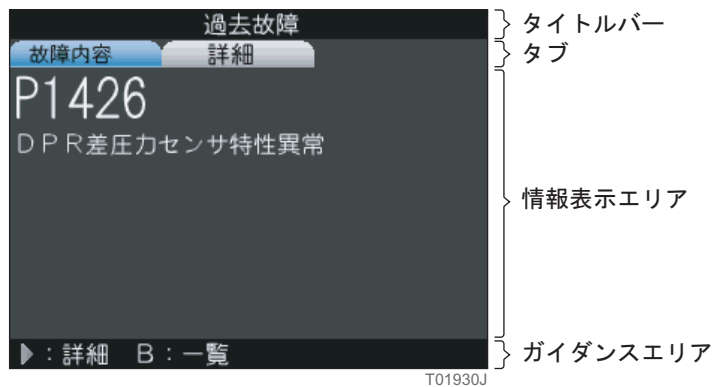
3. 通信設定画面の「インターフェース選択」に"DST−i"が表示されていることを確認し、OK キーを押します。

通信設定画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- ここで選択されたインターフェースの設定は、以降も保持されます。次回以降は、Hino DX の起動時に実施する必要はありません。

2 DST-i 日野車用ソフトの操作

2-1 画面の構成

DST-i 日野車用ソフトの画面の構成は、以下のとおりです。

画面の構成

- タイトルバー

現在表示中の画面タイトルが表示されます。

タイトルバー

- タブ

現在表示中の画面内の選択可能な項目が表示されます。

タブ

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

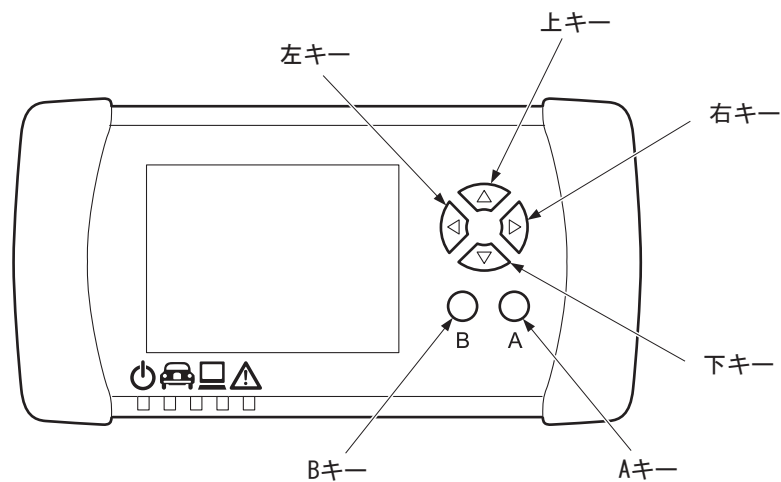
- 車種や画面によって、タブの有無や表示される項目は異なります。

- ガイダンスエリア

現在表示中の画面に対する操作ガイダンスが表示されます。

ガイダンスエリア

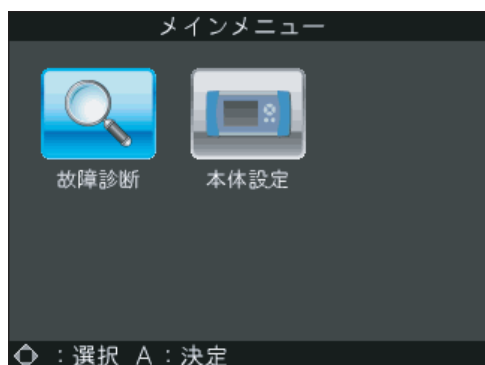
2-2 基本操作

DST-i には、6 つの操作キーが配置されています。

画面によって、操作キーの機能は異なります。
ガイダンスエリアに表示される操作ガイダンスに従って操作してください。
B キーを押したときの動作は、特に操作ガイダンスの表示がない場合は 1 つ前の画面に戻ります。（一部画面を除く）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- **メインメニュー画面からオープニング画面に戻ることはできません。**
  オープニング画面に戻るには、DST-i を再起動する必要があります。

2-3 メインメニュー

オープニング画面が表示されている状態で、いずれかのキーを押すと、メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- **本体設定の仕向地設定が「日本」に設定されている場合、メインメニュー画面は日本語で表示され、「グローバル」に設定されている場合は、英語で表示されます。**

  初めて DST-i に DST-i 日野車用ソフトをインストールしたときには、「仕向地」が「グローバル」に設定されており、画面の文字は英語で表示されます。

  日本語表示に切り替えるには、仕向地設定で「仕向地」を「日本」に変更してください。

  参照：P.30 仕向地「グローバル」（英語表示）から仕向地「日本」（日本語表示）に切り替えるには（2 章 DST-i 日野車用ソフトの操作／本体設定／仕向地設定）

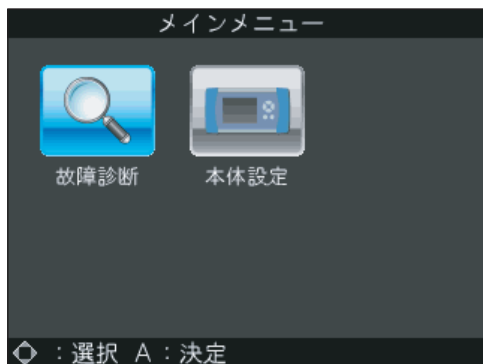
メインメニュー画面から選択可能な機能について説明します。

機　能	内　　容
故障診断	故障コードの読み出し・消去、作業サポート機能により、車両診断・整備に役立てることができます。
本体設定	DST-i の設定を変更し、カスタマイズすることができます。

2-4 診断機能

システム選択

故障診断する車両情報やシステムを選択します。

1. メインメニュー画面で「故障診断」を選択し、A キーを押します。
車両分類選択画面が表示されます。

メインメニュー画面

車両分類選択画面

アドバイス

- DST-i 日野車用ソフトのバージョンによって、表示される車両分類は異なります。

2. 車両分類選択画面で故障診断を行う車両の分類を選択し、A キーを押します。
排出ガス記号選択画面が表示されます。

排出ガス記号選択画面

アドバイス

- DST-i 日野車用ソフトのバージョンおよび上位メニューで選択した内容によって、表示される排出ガス記号は異なります。

3. 排出ガス記号選択画面で故障診断を行う車両の排出ガス記号を選択し、A キーを押します。
システム区分選択画面が表示されます。

システム区分選択画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- DST-i 日野車用ソフトのバージョンおよび上位メニューで選択した内容によって、表示されるシステムは異なります。

4. システム区分選択画面で故障診断を行うシステムを選択し、A キーを押します。
故障診断メニュー画面が表示されます。

故障診断メニュー画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車種やシステムによって、故障診断メニュー画面に表示される項目は異なります。

故障コード読出

故障コードとは、車両の ECU の自己診断機能によって、故障の系統や異常な状態を検出し、ユーザや整備メカニックに知らせるコードのことです。

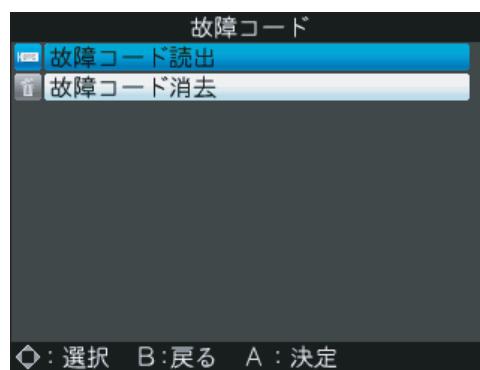
故障コードは、故障系統毎に分けられているため、故障原因の特定に役立てることができます。
DST-i 日野車用ソフトでは、現在の故障コード、過去の故障コード、判定中の故障コードを表示することができます。
故障コードには以下の種類があります。

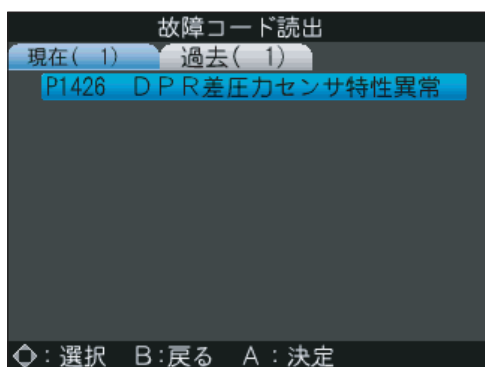
故障コードの種類	内　　容
現在	現在発生していると思われる故障コードです。
過去	過去に検出した故障コードです。
判定中	エミッション関連で、故障コード検出には至っていないが、故障の可能性があることを示す故障コードです。

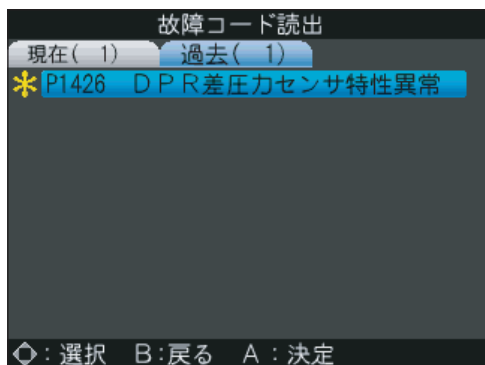
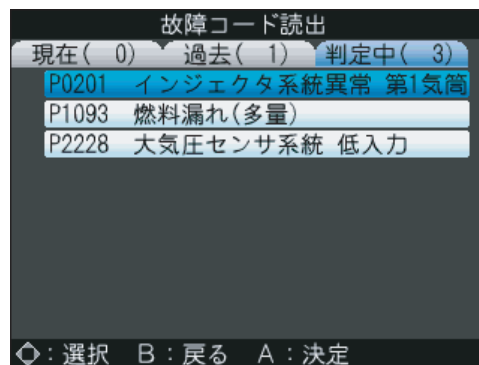
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

● 車種やシステムによって、サポートしている故障コードの種類は異なります。

1. 故障診断メニュー画面で「故障コード」を選択し、A キーを押します。
故障コードメニュー画面が表示されます。

故障診断メニュー画面

故障コードメニュー画面

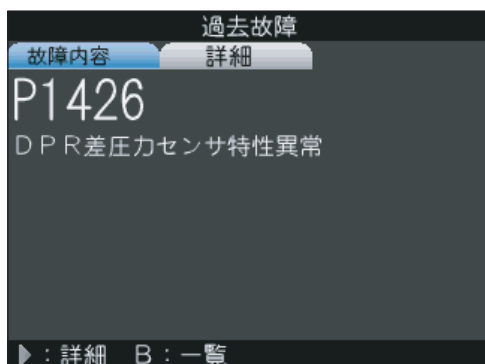
2. 故障コードメニュー画面で「故障コード読出」を選択し、A キーを押します。
故障コード表示画面が表示されます。

故障コード表示画面
（現在の故障コード一覧）

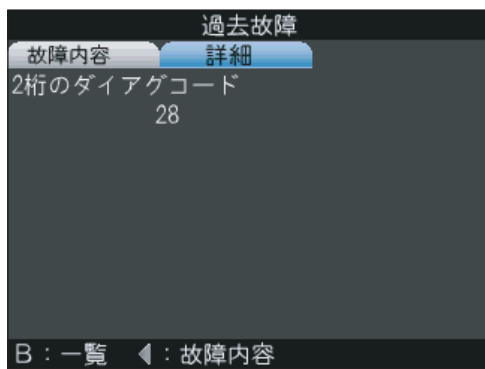
3. **故障コード表示画面（現在の故障コード一覧）で右キーを押します。**
タブが「過去」に切り替わり、過去の故障コード一覧が表示されます。
さらに故障コード表示画面（過去の故障コード一覧）で右キーを押します。
タブが「判定中」に切り替わり、判定中の故障コード一覧が表示されます。

故障コード表示画面
（過去の故障コード一覧）

故障コード表示画面
（判定中の故障コード一覧）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- **右キー、左キーで一覧表示を切り替えることができます。**
- **車種やシステムによって、サポートしている故障コードの種類は異なります。**
  サポートしている故障コードの種類のみタブが表示され、故障コードの一覧を表示することができます。

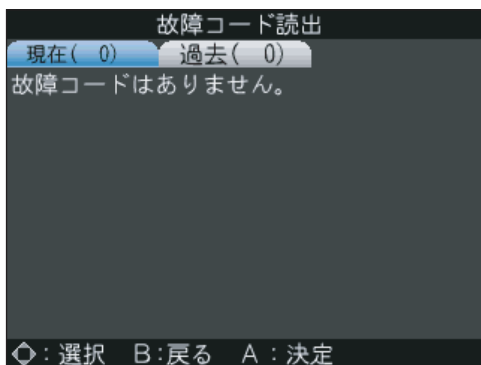
4. **故障コード表示画面（過去の故障コード一覧）で任意の故障コードを選択し、A キーを押します。**
故障コード詳細表示画面が表示されます。

故障コード詳細表示画面
（故障内容）

5. 故障コード詳細表示画面で右キーを押します。
詳細情報（2 桁のダイアグコード）が表示されます。

故障コード詳細表示画面
（詳細情報）

アドバイス

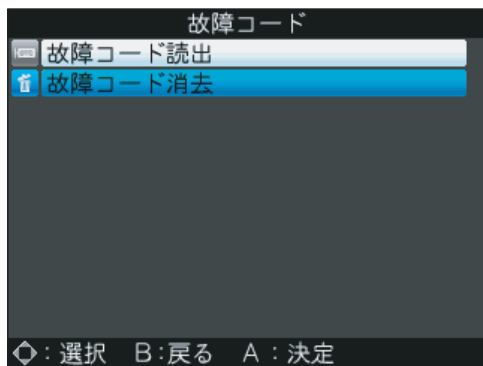
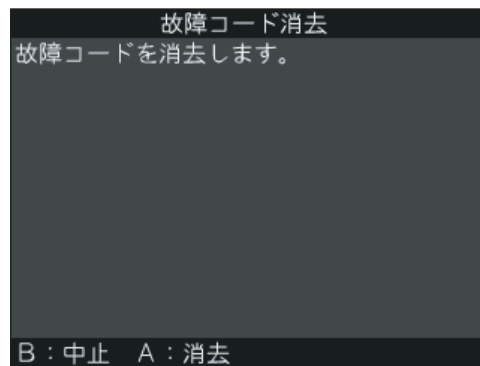
- 詳細情報は、過去の故障コード一覧からしか表示できません。
  また、車種やシステムによって、詳細情報が表示されない場合があります。
- 故障コードメニュー画面に戻るには、B キーを押して 1 画面ずつ戻ってください。

■ 故障コードが記憶されていない場合

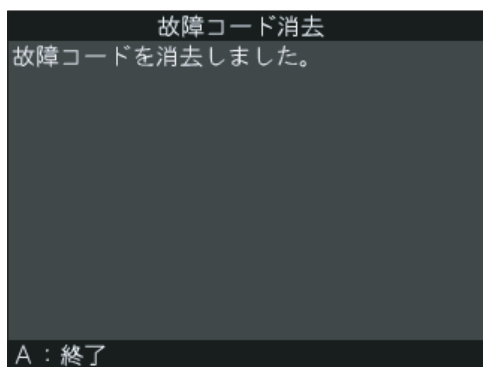
ECU に故障コードが記憶されていない場合は、故障コード表示画面にメッセージが表示されます。

故障コード表示画面

故障コード消去

ECU に記憶されている故障コードを消去することができます。

1. 故障コードメニュー画面で「故障コード消去」を選択し、A キーを押します。
故障コード消去画面が表示されます。

故障コードメニュー画面

故障コード消去画面

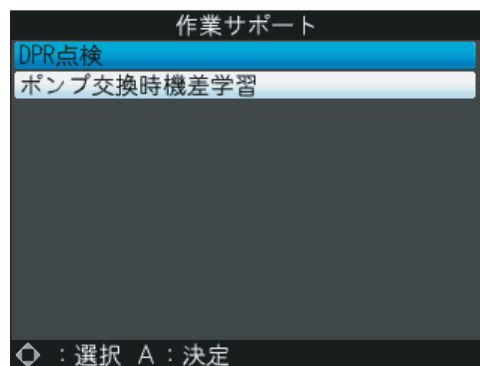
2. 故障コード消去画面で A キーを押します。
故障コードが消去された後、消去完了メッセージが表示されます。

故障コード消去完了画面

3. 故障コード消去完了画面で A キーを押します。
故障コードメニュー画面に戻ります。

作業サポート

作業サポートでは、DPR 点検やポンプ交換時機差学習を実施することができます。

1. **故障診断メニュー画面で「作業サポート」を選択し、A キーを押します。**
作業サポートメニュー画面が表示されます。

故障診断メニュー画面

作業サポートメニュー画面

2. **作業サポートメニュー画面で実施する作業サポートを選択し、A キーを押します。**
「DPR 点検」を選択した場合は、DPR 点検メニュー画面が表示されます。

DPR点検メニュー画面

作業サポートメニュー画面から選択可能な機能について説明します。

機　能		内　　容
DPR 点検	DPR 状態表示	DPR 状態をモニタすることができます。 DPR 状態により、DPR の点検および洗浄の必要性を確認します。
	DPR 状態リセット	DPR 状態をリセットすることができます。
	DPR 強制再生	DPR を強制的に再生することができます。
	DPR 差圧チェック	DPR の目詰まりを確認することができます。
ポンプ交換時機差学習		サプライポンプを修理、交換した際、エンジン ECU 内に記録されている学習値を更新することができます。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- **車種やシステムによって、使用できる機能は異なります。**
  使用できない機能は、メニューに表示されません。

2-5 本体設定

DST-i の設定を変更し、カスタマイズすることができます。

1. **メインメニュー画面で「本体設定」を選択し、A キーを押します。**
設定メニュー画面が表示されます。

T01952J
メインメニュー画面

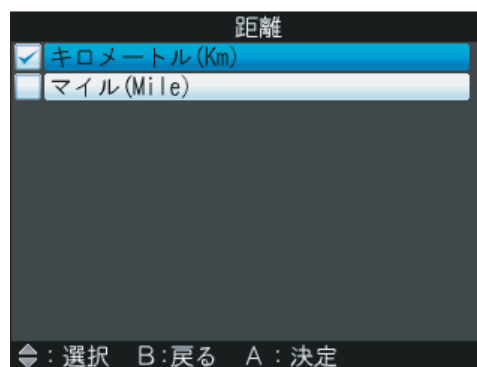
T01953J
設定メニュー画面

2. **設定メニュー画面で設定する項目を選択し、A キーを押します。**
選択した項目の設定画面が表示されます。

単位設定

単位設定では、項目毎の単位を変更することができます。

1. **項目選択画面で単位を変更する項目を選択し、A キーを押します。**
単位選択画面が表示されます。

T01954J
項目選択画面

T01955J
単位選択画面

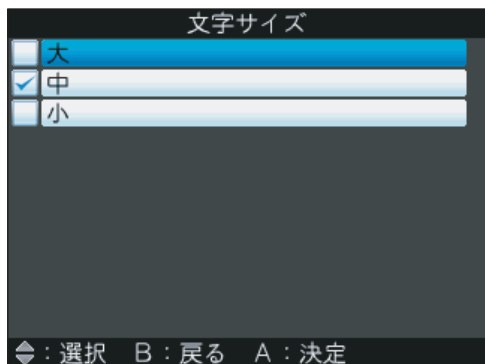
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 現在設定されている単位のチェックボックスには、レ点が表示されます。
- 画面イメージに表示されている設定項目は一例です。実際とは異なる場合があります。

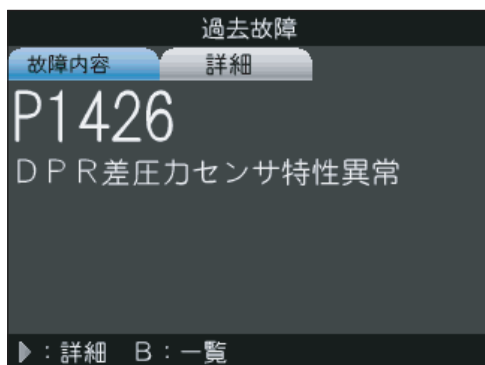
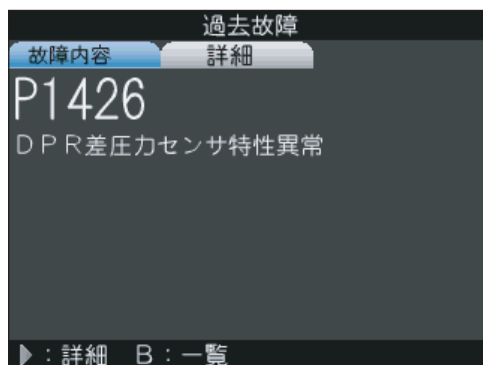
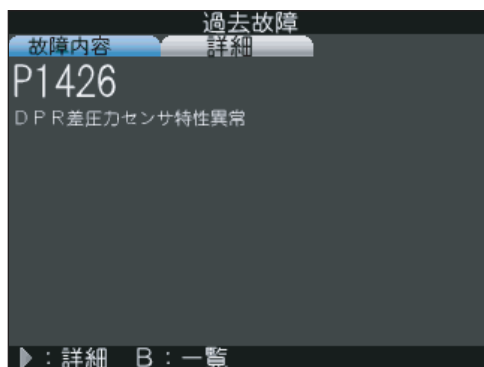
2. **単位選択画面で設定する単位を選択し、A キーを押します。**
単位が設定された後、項目選択画面に戻ります。

文字サイズ設定

文字サイズ設定では、画面の「情報表示エリア」の文字サイズを変更することができます。

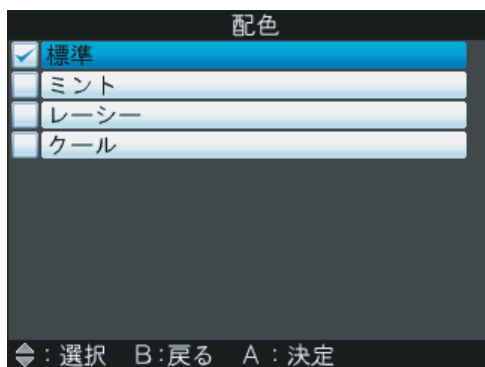
1. **文字サイズ設定画面で文字の表示サイズを選択し、A キーを押します。**
画面の文字サイズがリアルタイムに更新されます。

文字サイズ設定画面

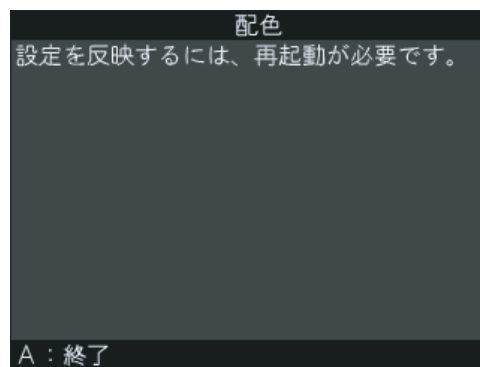
アドバイス

- 現在設定されているサイズのチェックボックスには、レ点が表示されます。
- 文字サイズを変更しても「タイトルバー」、「タブ」、「ガイダンスエリア」の文字サイズは変更されません。

文字サイズ設定「大」の画面例

文字サイズ設定「中」の画面例

文字サイズ設定「小」の画面例

配色設定

配色設定では、画面の配色を切り替えることができます。

1. 配色選択画面で設定する配色を選択し、A キーを押します。

T01960J

配色選択画面

T01961J

再起動指示画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 現在設定されている配色のチェックボックスには、レ点が表示されます。
- 画面イメージで選択可能な配色パターンは一例です。実際とは異なる場合があります。

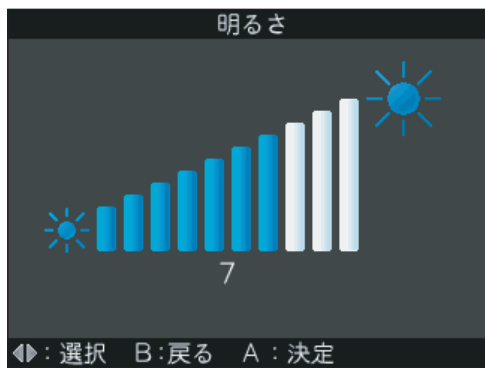
2. DST-i を再起動します。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 設定した配色に切り替えるには、DST-i を再起動する必要があります。

明るさ設定

明るさ設定では、画面のバックライトの輝度を調整することができます。

1. 明るさ設定画面で右キーまたは左キーを押して希望の明るさに合わせ、A キーを押して決定します。
   A キーを押さずに B キーを押すと、変更はキャンセルされます。

明るさ設定画面

アドバイス

- 現在設定されている明るさの数値が画面に表示されます。

ブザー設定

ブザー設定では、DST-i 操作時のブザー音の有無を設定することができます。

1. ブザー設定画面で右キーまたは左キーを押して希望する設定にし、A キーを押して決定します。
   A キーを押さずに B キーを押すと、変更はキャンセルされます。

ブザー設定画面

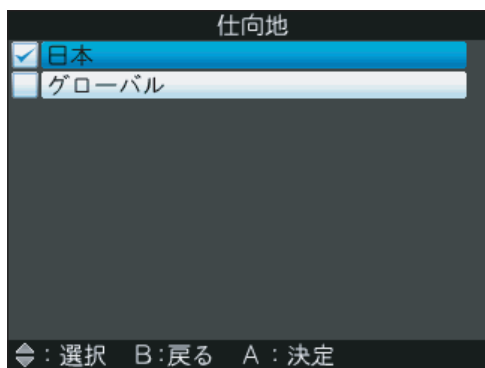
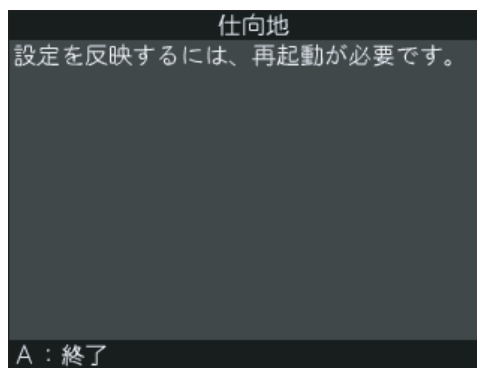
アドバイス

- 現在設定されているブザー音の ON・OFF が画面に表示されます。

仕向地設定

仕向地設定では、DST−i を使用する地域（仕向地）を切り替えることができます。仕向地に合わせて、診断可能な車両・システムおよび表示される言語が切り替わります。

日本	日本国内で使用する場合（日本語表示）
グローバル	日本を含む全世界で使用する場合（英語表示）

1. 仕向地選択画面で設定する仕向地を選択し、A キーを押します。

仕向地選択画面

再起動指示画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

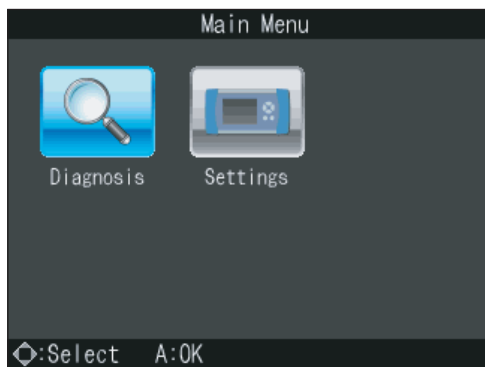
- 現在設定されている言語のチェックボックスには、レ点が表示されます。

2. DST−i を再起動します。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

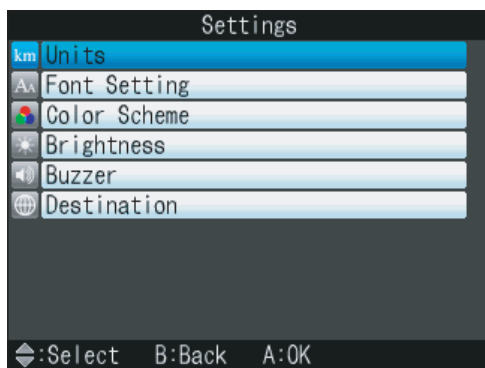
- 設定した仕向地に切り替えるには、DST−i を再起動する必要があります。

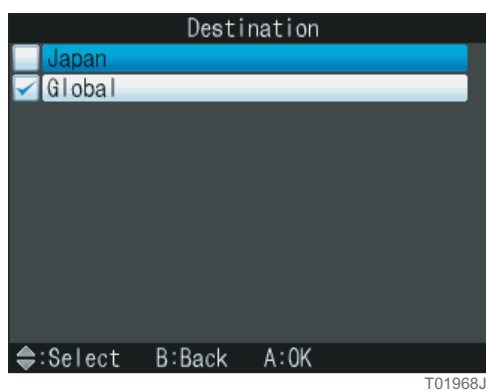
■ 仕向地「グローバル」（英語表示）から仕向地「日本」（日本語表示）に切り替えるには

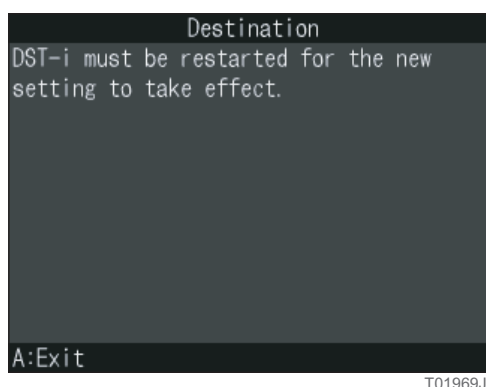
1. 現在表示している画面からメインメニュー画面に戻ります。

メインメニュー画面

アドバイス

- 再起動してオープニング画面が表示された後、いずれかのキーを押すことでメインメニュー画面を表示することもできます。

2. メインメニュー画面で「Settings」を選択し、A キーを押します。
設定メニュー画面が表示されます。

設定メニュー画面

3. 設定メニュー画面で「Destination」を選択し、A キーを押します。
仕向地選択画面が表示されます。

仕向地選択画面

4. 仕向地選択画面で「Japan」を選択し、A キーを押します。

再起動指示画面

5. DST-i を再起動します。

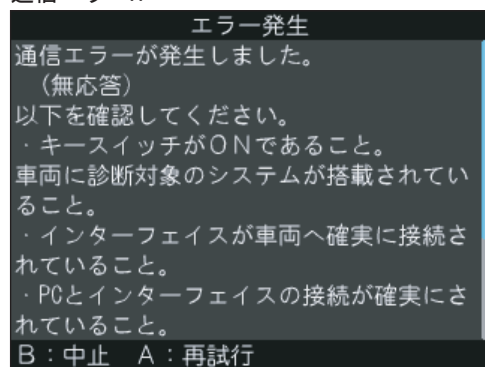
3 エラーが発生したら

3-1 通信エラー

DST-i 日野車用ソフトを使用中に通信エラーが発生した場合、下記のエラーメッセージ画面が表示されます。

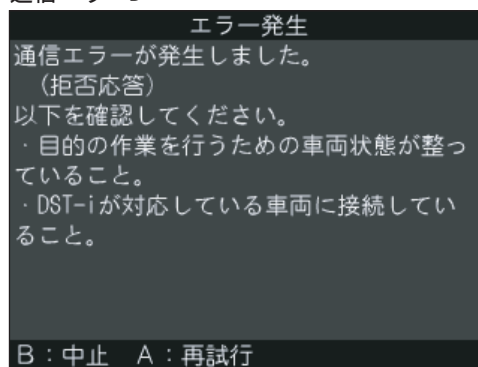
通信エラーA

エラー発生
通信エラーが発生しました。
（無応答）
以下を確認してください。
・キースイッチがＯＮであること。
車両に診断対象のシステムが搭載されていること。
・インターフェイスが車両へ確実に接続されていること。
・PCとインターフェイスの接続が確実にされていること。
Ｂ：中止　Ａ：再試行

T01970J

エラーメッセージ画面
（無応答）

通信エラーB

エラー発生
通信エラーが発生しました。
（拒否応答）
以下を確認してください。
・目的の作業を行うための車両状態が整っていること。
・DST-iが対応している車両に接続していること。
Ｂ：中止　Ａ：再試行

T01971J

エラーメッセージ画面
（拒否応答）

通信エラー が発生したときの対処方法は、まず A キーを押して再試行します。
その結果、再び通信エラーが発生した場合は、以下の通り、通信エラーの発生を確認します。

■ 通信エラー A

通信エラー A は、DST-i からの要求に対してシステム（ECU）が応答しない場合に表示されます。
原因としては、以下が考えられます。

・車両のキースイッチが ON ではない。
・データリンクケーブルが接続されていない、または接触不良。
・車両に診断対象のシステムが搭載されていない。
・DST-i 日野車用ソフトが当該のシステムに対応していない。
DST-i 日野車用ソフトが対応している車両・システムは、HinoDX が対応しているものと同等です。
ただし、DST-i 日野車用ソフトへ追加される時期は多少ズレが生じる可能性があります。

■ 通信エラー B

通信エラー B は、DST-i からの要求に対してシステム（ECU）から拒否応答があった場合に表示されます。
原因としては、以下が考えられます。

・実施しようとしている作業に対して、車両側の条件が整っていない。

例えば以下の場合が考えられます。
「DPR 状態リセット」は、エンジン停止中しか実施できないが、作業ガイダンスに従わず、エンジン回転中に実施した場合など。

上記を確認しても問題が解消されない場合は、ご購入店もしくは最寄りの株式会社デンソーセールスまでお問い合わせください。

3-2 画面のフリーズ

DST-i 日野車用ソフトを使用中に画面が動かなくなった場合は、以下の手順で対処します。

1. DST-i のモードスイッチを OFF にします。
   モードスイッチを OFF にしても画面のフリーズが解消されない場合は、ご購入店もしくは最寄りの株式会社デンソーセールスまでお問い合わせください。

2. DST-i のモードスイッチを ON にして再起動します。
   再起動しても画面のフリーズが解消されない場合は、ご購入店もしくは最寄りの株式会社デンソーセールスまでお問い合わせください。

株式会社デンソーセールス

株式会社デンソーセールス	〒150-0046	渋谷区松濤2丁目15番13号	03(6367)9666
北海道支社	〒063-0002	札幌市西区山の手2条7丁目2番27号	011(614)3514
東北支社	〒983-0036	仙台市宮城野区苦竹2丁目6番1号	022(238)9915
青森支店	〒038-0003	青森市大字石江字江渡18番34号	017(761)1177
関東支社	〒338-0013	さいたま市中央区鈴谷4丁目4番1号	048(840)1177
栃木支店	〒321-0911	宇都宮市問屋町3172-52	028(657)7880
茨城支店	〒310-0842	水戸市けやき台3-48-1	029(304)1002
千葉支店	〒261-0026	千葉市美浜区幕張西3丁目1番地9号	043(299)1188
横浜支店	〒224-0045	横浜市都筑区東方町340番地1号	045(470)1177
新潟支店	〒950-0993	新潟市中央区上所中3丁目14番地13号	025(282)1177
中部支社	〒457-0828	名古屋市南区宝生町4丁目30番地	052(619)1432
北陸支店	〒930-0010	富山市稲荷元町1丁目6番15号	076(443)1303
静岡支店	〒420-0810	静岡市葵区上土1丁目1番84号	054(267)0770
長野支店	〒381-0101	長野市若穂綿内南條87-3	026(282)7300
関西支社	〒530-0044	大阪市北区東天満1丁目7番19号	06(6355)3871
京都支店	〒601-8136	京都市南区上鳥羽岩ノ本町15番地	075(662)8813
神戸支店	〒651-0083	神戸市中央区浜辺通2-1-30　三宮国際ビル3階	078(262)8700
中国支社	〒730-0025	広島市中区東平塚町4番21号	082(242)5202
岡山支店	〒700-0941	岡山市南区青江6丁目6番13号	086(262)9918
四国支社	〒760-0065	高松市朝日町3-6-3	087(821)9750
九州支社	〒812-0015	福岡市博多区山王2丁目6番35	092(412)1185

株式会社デンソー

株式会社デンソー	〒448-8661	愛知県刈谷市昭和町1-1	0566(25)5511 （番号案内）

日野車用ソフト
取扱説明書

初版　　2010 年 10 月
第五版　2014 年 12 月